

保育園での異文化体験エピソード



その29 子どもを丁寧にみる子育て



イラスト・うつろあきこ

ベトナムでは、基本的にパンツを履いていない子どもたち（乳幼児）が多くいるのに驚きました。その理由の1つとして、この国の暑さが関係していることも考えられると思います。暑い中でパンツや紙パンツを履いていることで蒸れて、汗疹やかぶれにつながるということも考えられます。また、紙パンツはコスト的に高く、経済的にむずかしい部分があり、女の子は比較的パンツを履いていて、男の子は履いていない子が多いと聞いています。

これも一意見として、聞いてください。ベトナムでのトイレトレーニングは、生後6か月くらいからスタートするともいわれています。どうしてそんなことができるのかと思うのですが、これは、とくにお母さんが子どもの様子をよく観察していて、「そろそろおしっこが出る頃かな? うんちが出る頃かな?」と見極め、援助していることが背景にあるのだと感じました。更には食事の様子も含め、一日の様子を丁寧に見守っているそうです。

日本でも一昔前は当前のような気がしますが、子どもを丁寧にみる子育てには感動すら覚えました。

(菊池隆大/ベトナム社会主義共和国ホーチミン市・みらい幼稚園主任保育士)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp